



「映える富岡」町民発信

町公式インスタグラム
につながるQRコード

「町民カメラ」の企画でインスタントカメラを受け取る猪狩さん



富岡町のインスタグラム「しい」が同居する町・富岡公式アカウント「とみおかモン」の企画「町民カメラ」が人気だ。町民や町ゆかりの人がカメラマンとなり、町内のお薦めスポットや日常風景をインスタントカメラで撮影して紹介していく内容。数珠つなぎで回しており、すでに10人以上が投稿している。

町のインスタグラムの公式アカウントは昨年7月から開設。あえて「行政っぽくない」発信を心がけ、住民目線の親しみのある情報を届けている。町民カメラの初回は山本育男町長で、町役場の隠れた「映えスポット」や町内に咲く花々を紹介。2人目以降は撮影者が指名しており、町民の輪

「しい」が同居する町・富岡の魅力を発信したい」と話した。

町内の小浜風童太鼓で活動する猪狩考平さん(35)は「インスタントカメラを受け取り「思い出の場所を撮影したい」と意気込んだ。町企画課職員は「町に親近感や懐かしさを感じてもらえれば、企画を通して人の輪が広がっている」と期待を込めた。

“行政っぽくない”好評



「町民カメラ」の投稿の一つ

「行政っぽくない」好評

「町民カメラ」の企画でインスタントカメラを受け取る猪狩さん

「しい」が同居する町・富岡の魅力を発信したい」と話した。

町内の小浜風童太鼓で活動する猪狩考平さん(35)は「インスタントカメラを受け取り「思い出の場所を撮影したい」と意気込んだ。町企画課職員は「町に親近感や懐かしさを感じてもらえれば、企画を通して人の輪が広がっている」と期待を込めた。

▲4月14日 福島民友新聞掲載

いつ、どこで、だれが、なにを、どうやって、なんのために

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ?

どこで?

だれが?

なにを?

どうやって?

どのように?

どうして?

なんのために?

みなさんが伝えたいあなたの町のおすすめスポットや日常風景は何ですか。

